



日本旅百景
特別企画

国生みの島淡路島から小豆島へ 瀬戸内の島々を巡る旅

10月、11月とご好評をいただきました香川、兵庫両県を巡るコラボ観光プロジェクト。第二弾として瀬戸内の島々を巡る新コースを発表します。今回のテーマは「島の伝統芸能」。島だからこそ色濃く伝わる両島の伝統芸能を、「日本旅百景」特別仕立てでご案内。島の文化にふれる特別なひとときをお楽しみください。

淡路島の伊弉諾神宮（いざなぎじんぐう） 語り部付き夜間特別参拝と創生国生み神楽

10月22日、興味はありながらもなかなか行く機会に恵まれなかった、毎月22日の「夫婦の日」に行われる伊弉諾神宮の「夜間特別参拝と創生国生み神楽」を訪ねました。大阪から明石大橋を渡り、車で約1時間30分。真っ暗な駐車場に車を止め、いよいよ日本最古の

語り部とともに 夜間特別参拝へ



語り部より日本神話の創世記についての話を伺いました

神宮の中に建つ「せきれいの里」で受付を済ませ、2階にて語り部の方から伊弉諾神宮の国生み神話について話を伺いました。古事記・日本書紀の創世記において、イザナギノミコトとイザナミノミコトが日本の国土を創造する物語で、天の浮橋から矛を使って海を

かき混ぜた際、滴り落ちた潮から最初の島である淡路島が誕生。これを皮切りに、四国、隠岐、九州、香岐、対馬、佐渡、本州と二神は次々と日本列島の島々を生み出したという話を理解し、外に出て語り部と一緒に神宮内の見学へ。

拝殿にて特別参拝祈願と 夜神楽鑑賞

神宮内の見学を終え、ライトアップされた正門を通り、拝殿へと向かいました。靴を脱いで中に入り神職による特別参拝祈願を受け、いよいよ夜神楽のスタートです。演じるのは、神社がある地区に住む子どもたち。美しい衣装に身を包み、本番のピリツとした空気の中で真剣に舞う子どもたちの姿が胸に迫ります。



拝殿にて神楽を舞う子どもたち



伊弉諾（いざなぎ）神宮の大鳥居

知っているようで知らないことが多い日本神話にふれ、幻想的な雰囲気の中での夜間参拝、そして民俗芸能を引き継ぎ、一生懸命に舞う子どもたちの神楽に感動を覚えた、非常に価値のある体験でした。皆様にもぜひ味わっていただきたいと、強く思います。

小豆島の伝統芸能を楽しむプログラム

古代より「あずきじま」の名称で律令体制下に組み込まれ、中世以降も瀬戸内の海運の要所として栄えた小豆島は、豊かな歴史や文化が今も脈々と受け継がれています。1年でも限られた時期にかふれることができない伝統芸能を、今回はホテルにお越しいただき、夕食時にご覧いただくプログラムをご用意しました。

●石節（せきぶし）

小豆島は古くから石の産地でもあり、大阪城の石垣に使われる石もこの地で切り出され、船で大阪へ運ばれました。石節は石工たちが作業の際に唄い、テンポを合わせることで作業効率を高めていま



石工たちが伝えてきた「石節」(イメージ)

●安田おどり

江戸時代初期から伝承し、末期に上方より移り住んだ歌舞伎役者によって完成されたといわれています。元禄時代の踊りの型をよく伝えており、都風な女踊りと素朴な男踊りが特徴。香川県指定無形民俗文化財に指定されています。



「安田おどり」(イメージ)

●ヤッシッシ

小豆島町馬木地区の金羅明神の夏祭りで披露される伝統の踊り

郷土芸能に纏わる小豆島の訪問地へ

郷土芸能のプログラムをご覧いただいた翌日には、関連する小豆島の訪問地も訪ねます。石節が歌われた石切りの舞台を訪ねて小海地区の「大坂城残石記念公園」へ。大阪城の石垣を造るべく切り出され、残された巨石が海辺に残ります。「安田おどり」や「ヤッシッシ」が伝承される安田、馬木地区は「醤の郷」と呼ばれ醤油蔵の連なる町並みが広がります。中山農村歌舞伎舞台やオーリーブ公園の訪問など、独自の文化や産業が残る小豆島を終日巡ります。



2024年に改修を終えた中山農村舞台



大阪城残石記念公園(イメージ)



醤の郷(ひしおのさと)(イメージ)

55周年謝恩企画特別プレゼント

ワールドオリジナルスーツケーススタグを、「55周年謝恩企画」ツアーご参加の皆様にはプレゼントいたします。



三越、高島屋、大丸など有名百貨店で高級革製品を展開する「キプリス」ブランドの(株)モルフォ社に依頼した特注品です。牛革をクロム鞣しで柔らかく仕上げ、シュリンク型押し加工により傷がつきにくく耐久性にすぐれていて、色落ちや水シミにも強い上質な素材です。皆様の旅のお供に、長くご愛用いただければ幸いです。



安田おどり保存会の皆さんと視察者吉田(中央)

郷土芸能の保存会の方々と打ち合わせを行いました。

小豆島の特別プログラムを企画するにあたり、小豆島の各地を訪ね保存会の皆様と打ち合わせを行いました。どの郷土芸能も江戸時代からの伝統があり、保存会の方々が大切に今に伝えています。石節振興会の方からは、「小豆島には昔から四国と同様、お遍路の文化が残る、島の人々に島外からの人々をもてなす「お接待」の気持ちは受け継がれている。ぜひ全国の方々に島のおもてなし文化を郷土芸能とともに感じていただきたい」とのメッセージをいただきました。普段は島の各所で働く人々を中心。翌日の観光では思わぬ再会があるかもしれません。

ワールド航空サービス創業55周年謝恩「日本旅百景」特別企画 今も瀬戸内の島々に受け継がれる 神話と伝統芸能

大小700余りもある瀬戸内の島々。それぞれの島に歴史があり、独自の文化が今に息づいています。中でも最大の島である淡路島は、今こそレジャースポットとして人気を集めています。日本最古の歴史書『古事記』の冒頭に描かれた「国生み神話」の舞台であり、現在も日本創生神話の舞台が残ります。また、淡路島に次いで2番目に大きな島である小豆

島は、海運を通じた上方との交流による伝統文化が、今に受け継がれています。

今回は、ワールド55周年謝恩「日本旅百景」特別企画として、淡路島、小豆島に受け継がれる神話と伝統芸能の世界へご案内します。小豆島からは家島諸島を経由して姫路へ。チャーター船を利用しての特別ルートでぐるりと巡る、独自の行程にもご注目ください。



五斗長垣内遺跡は弥生時代後期の鉄器生産遺跡です



おのころ島神社

淡路島の国生み神話や 海人の足跡を訪ねます

淡路島は古墳時代に活躍した海の民（海人）の存在でも知られています。金属器による先端文化を伝え、航海術にも優れた海人は日本書紀にも登場します。この海人の残した遺物である五斗長垣内（ごつかい）遺跡を訪ねます。

そして淡路島といえば、「国生み神話」の世界。国生み神話に登場するイザナギノミコトとイザナミノミコトを祀る伊弉諾神宮や、国生みの聖地と伝えられるおのころ島神社を訪れます。

「伊弉諾神宮夜間特別参拝と創生国生み夜神楽」については2ページをご覧ください。

淡路島の冬の花名所 白く可憐な水仙

花の島としても名高い淡路島では、冬でも花が咲き誇ります。とくに白い花びらと黄色い中心



白く可憐な日本水仙(イメージ)

部分が特徴的な「日本水仙」が有名で、福井の越前海岸や千葉の房総半島と並び、日本有数の群生地として知られています。「灘黒岩水仙郷」は、淡路島の南端にそびえる山の斜面一帯に広がる水仙の名所です。群生地の斜面には階段が設置され、水仙を間近に楽しめます(注1)。

「讃岐三白」の故郷、 東かがわ市の「引田」を訪れ、小豆島へ

淡路島から小豆島への道中、東かがわ市の「引田（ひけた）」を訪ねます。引田は明石海峡や鳴門海峡を越えて大阪に向かう船の風待ち潮待ちの港町として栄え、醤油醸造業や廻船業の豪商屋敷が今も残ります。



小豆島の郷土芸能については3ページをご覧ください。



讃岐三白のひとつ和三盆(イメージ)
提供:(公社)香川県観光協会

今回は讃岐井筒屋敷を訪ね当時の繁栄を偲ぶとともに、江戸時代から讃岐の主要産品として名を馳せた讃岐三白(綿・塩・和三盆)のひとつ、和三盆の工房を訪れます。また、東かがわ市は全国の手袋生産量の90%以上を占める生産地。手袋産業の歴史を伝える資料館も訪問します。小豆島では、島で受け継がれる伝統芸能と、それに纏わる訪問地をお楽しみいただけます。

江戸時代より醤油と酒造りを行っていた商家「讃岐井筒屋敷」
提供:(公社)香川県観光協会

姫路の沖に浮かぶ 瀬戸内の島

「家島諸島」を訪問

兵庫県の南西部、姫路市から約18キロ、播磨灘の沖合に大小44の島々から構成される家島諸島。その中で人の住んでいる島は、家島、坊勢島、男鹿島、西島の4島で、合計約4000人にのびります。瀬戸内海国立公園にも指定され、古くから瀬戸内航海の風待ち潮待ちの要所として多くの旅人が訪れています。その風光明媚な景観は、万葉の時代から、いくつもの和歌に詠まれてきました。島の名前の由来は、神武天皇が東征の折、嵐に見舞われてこの島に避難してきた際に「まるで家にいるように静かだ」といわれたところから、家島という名前が付いたのだと



日本一の漁船数を誇る坊勢島(イメージ) ©家島観光事業組合

か。このたびは、チャーター船を利用して島の語り部ガイドとともに島めぐりへ。風情ある漁港のある家島、坊勢島は上陸して島歩きを楽しみます。

瀬戸内の海の幸も お楽しみください

古くから都に食材を届ける御食(みけつ)国である淡路島では旬の「3年とらふぐ」、東かがわでは香川のブランド魚である「オリーブハマチ」を。家島諸島では坊勢名物の鯖を使ったお食事をご用意。海の恵みを存分に受ける瀬戸内の島々に相応しい、各地の海の幸をご用意しました(注2)。



鯖ずし(イメージ)



(左)香川のブランド魚オリーブハマチ丼(イメージ) (右)「淡路島3年とらふぐ」を使ったふぐ御膳(イメージ)



●瀬戸内海を見渡す絶景ホテルに連泊

小豆島での宿泊は、瀬戸内海を望む丘の上に建つ「オリビアン小豆島 夕陽ヶ丘ホテル」です。客室は瀬戸内海を見晴らすテラスを有する客室をご用意しました。ホテル内の温泉施設「オリビ안의湯」も人気です。



瀬戸内海を望むオリビアン小豆島夕陽ヶ丘ホテル



ホテルからの夕日は絶景です(イメージ)



家島の町並み(イメージ) ©家島観光事業組合



日本旅百景 香川・兵庫
香川・兵庫コラボ観光プロジェクト2025

国生みの島淡路島から小豆島へ 瀬戸内の島々を巡る旅 5日間



集合・日数・出発日	旅行代金
【新神戸駅集合・5日間】 2月22日(日)	¥199,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥40,000にて承ります。)

1	新神戸14:00集合 〽五斗長垣内遺跡 伊弉諾神宮の夜間特別参拝と創生国生み夜神楽 淡路島21:00着 【2連泊】(淡路島泊) □ □ 夕
2	淡路島 〽おのころ島神社 〽天の浮橋 昼食は旬の淡路島3年とらふぐ料理をご用意 〽淡路人形座(淡路人形浄瑠璃) 〽灘黒岩水仙郷(注1) (淡路島泊) 朝昼夕
3	淡路島08:00発 〽鳴門大橋 〽東かがわ(〽讃岐井筒屋敷、和三盆をつくる三谷製糖、〽香川のでぶくろ資料館を訪ねます。昼食は魚源にてオリーブハマチをお召し上がりください) 〽高松15:50発 〽小豆島16:25着(ホテルにて夕食を食べながら小豆島の郷土芸能。石工たちが石を切り出す時にうたった「石節」、歌舞伎役者が郷土へ届けたいという「安田おどり」、馬木地区に伝わる「ヤッシッ」をお楽しみください(約1時間)) 【2連泊】(小豆島泊) 朝昼夕
4	小豆島 〽前日の郷土芸能に関連する訪問地を解説付きで訪ねます 〽大阪城残石記念公園 〽大阪城石垣石切とび越丁場跡 〽オリーブ公園 〽醬の郷 〽中山農村歌舞伎舞台 夕食はホテル内の「ブラ・ドゥ・メール」にて地産地消のフレンチ(小豆島泊) 朝昼夕
5	小豆島09:00発(貸切船) 〽家島諸島(島の語り部とともに家島、坊勢島を訪ねます。昼食は鯖ずしをご用意しました(注2)) 〽姫路港15:00着 〽姫路駅16:00解散 朝昼 □ ご自宅までお荷物を託送します。

(注1) 例年の花の見頃に合わせて設定していますが、花の見頃は気候により前後します。予めご了承ください。
(注2) 鯖ずし以外のメニューは季節のおまかせとなります。

■最少催行人員:12名様 ■食事:朝食4回、昼食4回、夕食4回
■添乗員:新神戸駅ご出発時から姫路駅ご到着時まで同行します。
■ホテル:淡路島/グランドメルキュール淡路島リゾート&スパ(洋室)、小豆島/オリビアン小豆島 夕陽ヶ丘ホテル(洋室)
■利用予定バス会社:神姫バス、小豆島交通または同等クラス(小豆島はバスの台数が限られており、短距離の移動のため1名2席をご利用いただけません。予めご了承ください。)

■各コース共通の旅行条件とご注意

■宿泊施設は特に明記してあるものを除き、バスタブ・トイレ付きのお部屋です（大浴場などの施設がある場合、シャワーのみ、あるいはバスタブ・シャワーなしのお部屋となる場合があります）。 ■お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金にて承ります。その場合は洋室シングルルームまたは和室となります。 ■旅行開始日の前日から起算して、さかのぼって14日目にあたる日以降の現地合流、離団はお受けすることができませんので、なるべく早めにお申し出ください。 ■キャンセル料半額制度は国内旅行の場合適用外となります。ご注意ください。 ■マークの説明 ➡=航空機 🚆=列車 🚌=バス 🚗=自動車 朝=朝食 昼=昼食 夕=夕食 □=食事なし ●=入場観光 ○=下車観光

ご旅行条件(抜粋) ●この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認ください。

1. 旅行のお申込み・予約・旅行契約の成立

- (1) お申込みは、当社にて当社所定の旅行申込書に所定の事項をご記入のうえ、申込金(40,000円又はパンフレットに明示した場合はその額)を添えてお申込みいただきます。
- (2) 当社は、電話、ファクシミリ、インターネット、Eメールその他の通信手段による旅行契約の予約を承ります。この場合、旅行契約は、予約の時点では成立しておらず、当社が旅行契約の締結を承諾した旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金のお支払いをしていただきます。この期間内に申込金のお支払いがなされない場合、当社は、予約はなかったものとして取り扱います。
- (3) 旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。なお、お支払い対象旅行代金や、申込金をクレジットカードを利用、自動引き落とし方法でのお支払い方法を選択されたお客様との旅行契約は、当社が契約の締結を承諾する旨のメールがお客様に到達した時に成立します。旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

2. 旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日以降にお申込みの場合、

旅行開始日前の当社が指定する期日までにお支払いいただきます。

3. お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

4. 旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ ホテル等の宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。) 及び税・サービス料金
 - ⑤ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

5. 旅行代金に含まれないもの

- 第4項の他は、旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示いたします。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) クリーニング代、電話料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心

付けその他の追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

- (3) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
- (4) ご希望者のみ参加されるオプションツアー(別途の小旅行)の料金

6. 取消料について

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことによりいつでも旅行契約を解除することができます。

旅行契約の解除期日	取消料(お一人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目(日帰り旅行にあっては10日目)に当たる日以降8日目に当たる日まで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降2日目に当たる日まで解除するとき	お支払い対象旅行代金の30%
旅行開始日の前日に解除するとき	お支払い対象旅行代金の40%
当日(旅行開始前)に解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%
貸切船舶を利用するとき	当該船舶に係る取消料規定による

ご旅行条件は、2025年12月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施



WEBも
どうぞ

https://www.wastours.jp

ワールド航空

検索

営業時間/月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)

ボンド保証会員

旅行業公正取引

協議会会員

WORLD

□ 東京支店 TEL : 03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ 大阪支店 TEL : 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹

□ 名古屋支店 TEL : 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICCO栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

□ 九州支店 TEL : 092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多借成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ 札幌支店 TEL : 011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ 湘南支店 TEL : 0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。 (株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号